

『自己決定と支援』について考える

~重い障害をもつ人の自己決定に必要なものは~

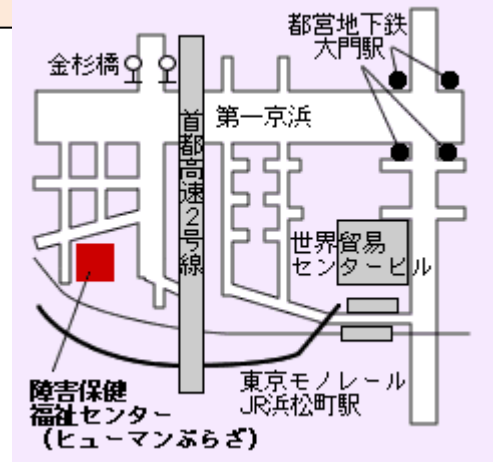
- ◆日時：2010年7月19日(月曜日 祝日) 13時から17時
- ◆場所：港区立障害保健福祉センター7階 竹芝小ホール
- ◆講師：大久保常明氏(社会福祉法人手をつなぐ育成会常務理事)
- ◆シンポジスト：大久保常明氏(前掲)
：清水明彦氏(西宮市社会福祉協議会障害者生活支援グループ)
：柴田洋弥氏(社会福祉法人同愛会 日の出福祉園)
- ◆参加費：サポート研会員は無料 それ以外は1,000円(資料代など)

知的障害者は「自己決定そのものへの支援」を必要としています。これが自己決定のできる身体障害者との大きな違いです。現在政府の障がい者制度改革推進会議および総合福祉部会では、身体障害者団体から「自己決定」を前提とする「セルフマネジメント」が強調され、知的障害者に必要な支援サービスの議論も低調であるようにみえます。障害者自立支援法は「介護」概念で制度設計され、障害程度区分の認定も「介護時間数」が基本となっています。知的障害者に合わない身体障害者中心の制度設計が、総合福祉法でも形を変えて繰り返される可能性があります。また民主党の「現行手帳を廃止して社会参加カードに統一する」という案も、知的障害者支援の特徴が無視される危険性を含んでいると言えます。

サポート研では6月に行った公開セミナーに引き続いて障がい者制度改革推進会議総合福祉部会の大久保氏と清水氏をお招きしてこの自己決定と支援の関係というたいへん大きな課題を取り上げて勉強会を行います。ぜひご参加ください。

【プログラム】

- 13:00 受付
- 13:30 開会 趣旨説明 柴田洋弥
- 13:45 講演 講師 大久保常明
- 15:00 シンポジウム 大久保常明 清水明彦 柴田洋弥
- 16:50 まとめ 赤塚光子(サポート研会長)
- 17:00 終了



2010年サポート研 合同勉強会に申し込みます

(なお参加費は当日受付でお支払いください。)

このままFAXして下さい。 FAX 送信先 044-271-8788

なおご不明の点などありましたら上記の番号にお電話いただくかサポート研のホームページをご覧ください。

お名前	
所属(記入または○をつける)	第 _____ 研究会 あるいは 所属していない
連絡先	電話 _____ メール _____
懇親会(○をつける)	参加 あるいは 不参加
ご意見欄(当日の質問とさせていただきます)	